

平成28年度重点施策

化学工学会は、本来、産学の垣根が他の学会に比べて低く、且つ、他の学問領域や産業領域との融合が進んでいる。現在は、IoT の発展もあり、産業や学術においても複数の領域が融合し、新産業を支える新技術の創出が必要とされている。

一方、グローバルに事業・市場が展開されており、これを支えるエンジニアリングのグローバル化が従来に増して重要となっている。この基盤となる人材育成と学術だけでなく起業マインドを有する人材の創出も学会の課題である。

これらのことを推進するため、2016年度においては、以下の3つのことを重点施策とする。

- 1) 産学が連携して国際交流を進める。
- 2) 深い専門力と広い視野を持つエンジニアのグローバルリーダーを産学で連携して育成する。
- 3) 異なる多くの学問領域・技術領域・産業領域との融合と United な協力を進める。

[1] 公益事業

1. 学術集会事業

(1) 本部大会

- | | | |
|-----------|----------------|--------------|
| ①第81年会 | (H28年3月13～15日) | 関西大学千里山キャンパス |
| ②第48回秋季大会 | (H28年9月6～8日) | 徳島大学常三島キャンパス |

(2) 支部大会

- ・関東支部大会 (H27年11月) 開催地未定
- ・関西支部大会 (H27年12月) 開催地未定
- ・中国四国支部共催 (H27年12月) 開催地未定

(3) 講演会、シンポジウム

- ・各種講演会、シンポジウム、講習会、技術交流会等の開催

2. 国際交流事業

(1) 国際化を促進する。

- ①ホームページの国際関連記事の英文化をより一層進める。
- ②アジアの各国の化学工学会の動向に注目し、特にフィリッピン、インドネシア、タイ等との交流を促進する。
- ③国際シンポジウムをより発展させる。
2016年3月年会では3セッションの国際シンポジウムとDECHEMAとのシンポジウムを開催する。2017年度3月年会でも4セッション以上のシンポジウムを目指す。

(2) 各委員会

①中国委員会

- 2016年度もCIESCと日中化工シンポジウムの開催を検討する。
- 2015年度同様年約4回の委員会と中国懇話会を開催する。

②韓国委員会

- 化学工学に関する国際シンポジウム (日韓学生シンポ,
The 28th International Symposium on Chemical Engineering) を開催する。

2015 年度秋季大会で日韓フォーラムを開催する。

③台湾委員会

台湾 (TwICHe) とのジョイントシンポジウムを開催できるよう努力する。

④ASEAN委員会

第 23 回RSCE(2016)はVietnam で 10 月 27 日-28 日開催される。RSCE2016 への参加を早めに案内し、より多くの参加を図る。引き続きフィリピン、インドネシア、タイとの関係を構築する。

⑤米国委員会

AICHe Annual meeting 2016 でreceptionを開催するが予算対応のReceptionとする。

SCEJ-AICHeのMOUについて引き続き検討する。

⑥ドイツ委員会

2016 年 3 月年会でDECHEMAとのジョイントフォーラムを開催する。

DECHEMAとのMOUを継続し、ACHEMA2018 やINCHEM2017 でのDECHEMAとの共催フォーラムを検討する。今後の協力関係をさらに深める。

⑦WCEC/APCChE

APCChE2017 (Hongkong) でAPCChE2019 の P R

APCChE2019 の支援

WCEC, APCChE会議への参加。

(3) APCChE2019 実行委員会

- ・場所と期日を設定し、組織、役割りを決め軌道に乗せる。ホームページを作成する。
- ・パンフレットを作成し、国際会議等で P Rを図る。

3. 人材育成事業

(1) 経営ゼミナール

- ・社会経済の動きに即応し、リーダーシップを発揮できる経営者の育成。
- ・第 42 回経営ゼミナール (平成 28 年 9 月 2, 3 日芦屋、9 月 30 日、10 月 1 日伊東、10 月 28, 29 日名古屋、11 月 25, 26 日東京) の実施。
テーマ: 「自らを変え、変革の波を起こせ! ~未知の世界を切り拓く~」。
- ・第 11 回経営ゼミナール特別講演会 (過去の受講者が集う場) の実施と産産交流。

(2) 継続教育

- ・保有 36 プログラム (プラント 24、安全 6、環境 4、その他 2) の実施。
企業の若手技術者が実務に直結した技術を学ぶ機会を提供。
- ・受講者の理解度向上のため、事前アンケートによる受講目的把握、テキスト事前送付による予習促進、修了レポート実施による復習サポートを実施。
- ・新規プログラムの拡充と、事後アンケート等に基づくプログラムの改定・更新。
- ・化学工学技士 (基礎) 保有の若手社員を対象にした受講料割引制度の実施。

(3) 高等教育

- ・教育審査委員会より「JABEEと連携した活動」を継承。社会の要求に応じた高等教育機関の技術者教育を改革する活動を実施。
- ・過去に実施した「化学工学教育シンポジウム」や「アンケート」を分析・反映し、「化学工学教育」体系のガイドライン策定に向けて活動。
- ・企業の協力の下で、学生が企業で研究・実習するインターンシップを実施。
学問と実務の橋渡し経験を得られる場を提供。
- ・インターンシップの受入企業を更に増やすために、企業間の情報交換・交流を新たに実施。
- ・SIS部会情報技術教育分科会「プロセスデザイン学生コンテスト」を共催。

- (4) 中等教育
 - ・「学生発表会」(平成 28 年 3 月 5 日静岡大学、福岡大学)の開催と、平成 29 年度(3 月 4 日東京農工大学、関西地区)に向けた準備。
 - ・「中高教諭とケミカルエンジニア交流のための見学講演会」を新たに東海支部と共催。
関東・関西両支部との共催を合わせて全国 3 箇所を実施。中高教諭が工学への理解を深める機会を提供。
 - ・「夢化学-21」事業(日化協等 4 団体)で作成した「高校生向けビデオ教材」の利用促進
のため、大学も含めた広報活動強化。
- (5) その他
 - ・「教育奨励賞」の審査・選考。

4. 資格付与事業

- (1) 資格制度運営
 - ・「上席化学工学技士」の審査に向けた運営。認定、更新。
 - ・「化学工学技士」の試験実施に向けた運営。認定、更新。
 - ・「化学工学技士(基礎)」の試験実施に向けた運営。認定、更新。
 - ・「化学工学修習士」の審査に向けた運営。認定。
 - ・「上席化学工学技士」と「化学工学技士」による「技士会」の立ち上げを支援。
 - ・各地域での「上席化学工学技士」活動を支援。
 - ・「化学工学技士(基礎)」と「上席化学工学技士」による「技士基礎の集い」を実施。
日本の未来を背負う若手技術者・研究者の卵とプロフェッショナルが意見交換できる場を提供。

5. 出版事業

- (1) 学会誌
 - ・部会発の記事の充実
 - ・学会誌電子化の検討
 - ・広告(会誌、ホームページ)獲得の拡大
- (2) ホームページ
 - ・新ホームページの公開後の意見の集約、それに付随する修正

6. 受託事業

- ・第 81 年会で「平成 27 年度 NEDO 受託調査研究」の報告会
- ・平成 28 年度受託調査研究の継続
- ・調査研究事業の実施及び受託等の情報収集

7. 技術相談事業

- ・産から学会への提言システムの構築と連携の推進
- ・常置委員会の活動支援による交流会の増強
- ・課題解決型タスクフォース等の推進

8. 審査事業

- ・論文誌のプレゼンス向上に係わる企画立案
- ・特集企画の立案による投稿記事の促進
- ・英文誌販売路の拡大

9. 表彰事業
 - ・名誉会員候補者の推薦
 - ・H28 年度化学工学会賞の表彰
10. 男女共同参画事業
 - ・第 81 年会にて「女性賞」受賞記念講演及び、女性研究者の研究成果講演を含むシンポジウム「女性技術者フォーラム」の実施。シンポジウム副題は、女性技術者が切り拓く機能性材料の最前線
 - ・「女性技術者ネットワーク」を継続的に開催
 - ・本部大会開催期間中における保育サービスの実施
 - ・男女共同参画学協会連絡会主幹事学会として活動

[2] 収益等事業

1. 展示出展事業

- ・スマートエンジニアリング TOKYO 2016 の開催 (H28 年 10 月 26 日～28 日)
省エネ・プラントショー、水イノベーション、水素エネルギーテクノフェアの
3つの展示会と、産学官マッチングフォーラムを開催
- ・INCHEM TOKYO 2017 の計画立案

2. 相互扶助事業

(1) 支部・懇話会

- ・地域 CT 賞の表彰

(2) 部会

- ・部会体制の発展的再構築の具体的検討
- ・本部大会等での魅力あるシンポジウム、討論会の実施
- ・産学官連携の推進
- ・部会 CT 賞の表彰
- ・情報発信力の強化(部会 HP 等)

(3) 会員増強

- ・入会パンフレット修正
- ・HP を使った会員増強運動
- ・会員増強功績賞の表彰

(4) 戦略企画

- ・Vision 2023 の継続的なフォロー
- ・クロウドコンソーシアムによる既存プロセスの技術革新のまとめ
- ・次世代エネルギー社会検討委員会の総括
- ・経済産業省との意見交換会の継続
- ・産業界交流委員会の再スタート
- ・新研究会「社会実装学創成研究会」の立上げ

[3] 刊行物

1. 定期刊行物

(1) 「化学工学」誌 第 80 巻No.1～12 号(12 冊)

- ・ページ数：60 ページ/号平均

(2) 「化学工学論文集」第 43 巻No.1～6

- ・ページ数：70 ページ/号平均

電子版：奇数月発行 6 回/年

冊子版：1、3 月号、5、7 月号、9、11 月号を合本として年 3 回発行

(3) “JOURNAL OF CHEMICAL ENGINEERING OF JAPAN” 第 49 巻No.1～12

- ・ページ数：80 ページ/号平均

電子版：毎月発行 12 回/年

冊子版：1～3月号、4～7月号、8～12月号を合本として年3回発行

[4] 支部事業

別紙「平成28年度各支部事業計画書」参照

[5] 部会事業

別紙「平成28年度各部会事業計画書」参照

(自 平成28年 3月 1日～至 平成29年2月28日)

公益社团法人 化学工学会

() 共保行事・△ 地区科話会名等・○印日程未定

北海道支部			東北支部		関東支部	
28年3月			4	(秋田)第50回秋田化学技術協会研究発表会 (秋田大学VBL)	3	神奈川技術講演会(神奈川懇話会)
			10	(宮城)第18回宮城化学工学懇話会先端研究 発表会(東北大) (東北支部協賛)	3	つくば学生研究交流会(つくば懇話会)
			22	第53回アイゼン設計技術講演会・見学会(宮城)	4	第6回幹事会
					5	第17回学生発表会
					10	イブニングセミナー
1月			○	(宮城)宮城化学工学懇話会総会(東北大)	○	工場見学会(北関東懇話会)
			○	東北支部特別講演会(東北大)	○	第1回運営会議
			○	(岩手)岩手化学工学懇話会総会(岩手大)		
5月	○	平成28年度第1回常任幹事会(北大)	○	(山形)山形化学工学懇話会総会(山形大)	○	第1回幹事会
			○	(山形)山形化学工学懇話会講演会(山形大)	○	神奈川技術見学・講演会(神奈川懇話会)
			○	(福島)福島化学工学懇話会総会(日本大学工学部)		
			○	(福島)福島化学工学懇話会講演会		
			○	(日本大学工学部)		
			○	(青森)青森化学工学懇話会総会		
			○	(青森)青森化学工学懇話会技術講演会		
6月	○	平成28年度第1回役員会	○	第24回東北支部若手の会セミナー(山形)	17	第54回関東技術サロンの第2回幹事会
	○	第19回化学工学北海道アカシア セミナー(北大)(第156回講演会)	○	(秋田)秋田化学工学懇話会総会	○	講演会(つくば懇話会)
			○	(秋田)第43回ケミカルエンジニアリング交流会 (東北支部協賛)	○	理事会・総会・第141回講演会(新潟懇話会)
					○	第50回化学工学基礎講習会「化学工学入門1」 (新潟懇話会)
					○	総会および記念講演会(北関東懇話会)
					○	ホットな話題の講習会
					○	ものづくり技術セミナー
					30・1	バイオプロセス技術見学会
7月	○	(平成27年度)微粒子工学講演会)	○	第54回プロセス設計技術講演会・見学会(宮城)	6・13・20	第3回初心者のための化学工学入門コース
					23	第21回現代電子屋講座
					○	中高教諭とエンジニア交流見学講演会
					○	第51回化学工学基礎講習会「化学工学入門2」 (新潟懇話会)
					○	食品微細科学研究会講演会・術懇話会 総会(つくば懇話会)
8月			○	第21回東北ジョイント夏季セミナー(岩手)	○	第2回運営会議
			○	東北支部平成28年度第1回役員会	○	第44・45回化学工学基礎講習会(新潟懇話会)
			○	(福島)夢化学21		
			29～9/1	(山形)【5th Asian Conference on Mining】 (冠の湯ホテル)		
9月			○	(宮城)第19回宮城化学工学懇話会先端研究発表会 (東北大) (東北支部協賛)	○	第3回幹事会
			10～11	(平成28年度化学系学会東北大会) (いわき明星大)	○	第21基礎化学工学講習会(1・2日目)
			○	(福島)福島化学工学懇話会見学会	○	第2回幹事会(新潟懇話会)
			○	(岩手)岩手化学工学懇話会講演会in北上市	○	第142回講演会・見学会(新潟懇話会)
					○	第22回旬の技術講演見学会
					○	見学・講演会(神奈川技術懇話会)
10月			○	第55回プロセス設計技術講演会・見学会(青森)	○	第3回運営会議
			○	(岩手)岩手化学工学懇話会講演会in奥州市	○	第21回基礎化学工学講習会(3・4日目)
			○	日本エネルギー学会東北支部平成28年度講演会 (東北支部協賛)	○	第21回基礎化学工学講習会(5・6日目)
			○	(青森)青森化学工学懇話会講演会	○	第47回CEシリーズ講習会
					○	第52回化学工学基礎講習会「化学工学入門1」 (新潟懇話会)
					○	見学会(つくば懇話会)
					○	研修懇話会(北関東懇話会)
11月	○	平成28年度見学会および講演会 (第157回講演会)	25～26	化学工学会3支部合同大会(福島大会)	18	第51回関東技術サロンの第5回幹事会
			○	第29回へいばなコンファレンス(東北支部協賛)	25・26	3支部合同共同大会
			○	(岩手)岩手化学工学懇話会講演会in花巻市	○	第53回化学工学基礎講習会「化学工学入門2」 (新潟懇話会)
			○	(第32回表面技術セミナー)(岩手大)	○	第54回化学工学基礎講習会「安全工学2」 (新潟懇話会)
			○	(岩手)【第26回化学工学一問セミナー】(一問高等)	○	第23回イブニングセミナー
			○	(秋田)第44回ケミカルエンジニアリング交流会 (東北支部協賛)	○	鹿島コンピナート講習会
12月	○	平成28年度第2回常任幹事会(北大)	○	(山形)山形化学工学懇話会技術講演会(山形大)	○	第17回材料セミナー
			○	(福島)第3回北関東特選地区科学技術フォーラム	○	第143回講演会(新潟懇話会)
			○	(福島)第7回福島地区CEセミナー(東北支部協賛)	○	FB技術講習会
					○	第3回幹事会(新潟懇話会)
29年1月	○	第26回化学工学・粉体工学 研究発表会(北海道大学)	○	第56回プロセス設計技術講演会・見学会(宮城)	○	講演会(北関東懇話会)
	○	平成28年度第2回役員会	○	東北支部平成28年度第2回役員会(宮城)	○	フローズアップシリーズ
					○	最近の化学工学講習会66
					○	見学・講演会(神奈川技術懇話会)
2月					4	第6回幹事会
					5	第16回学生発表会
					○	つくば学生研究交流会(つくば懇話会)

(自 平成28年 3月 1日~至 平成29年2月28日)

公益社団法人 化学工学会

東海支部		関西支部		中国四国支部		九州支部	
5	第16回 化学工学会学生発表会	5 ○ 13-15	第18回化学工学会学生発表会大同大会(福岡) 工業化技術研究会第12回研究会 第81年会(大阪)	1-3 2 4	<中国四国><山口>化学工学基礎講習会(岡南市) <中国四国><中国>プラント保全研究会(広島) <山口>化学工学研究会(宇部)		
12	第1回 幹事会	4	化学工学イノベーション研究会第18回研究会(大阪)	15 ○	<中国四国><中国>総会・記念講演会(広島) <徳島>第99回講演会(徳島)	○	第1回役員会
10 12~13 31 ○	第3回初歩からの化学工学数学演習講座 第1回初歩からの化学工学概論・演習講座 第1回常任幹事会 ○>静岡>役員会・総会/第51回 静岡コロキウム	27 ○ ○	<北陸>定期総会・第1回理事会(富山) <播磨>第1回理事会(姫路) <播磨>定例会(姫路)	○	<岡山>総会・特別講演会	○ ○ ○	第1回幹事会 <内九州>総会・講演会 <北九州>総会・講演会
3	第9回機器分析講習会	○ 27 ○	第1回幹事会 単位操作のイノベーションシリーズ「先端技術を支える 単位操作―乾燥・濃縮・蒸発―」(大阪) プラント・プロセス研究会第19回見学会	○ ○	<中国四国><山口>総会・講演会・見学会 (場所未定) <中国四国><徳島>総会・記念講演会(徳島)		
6/29~1 6~8 15 20	第40回 基礎化学工学演習講座 [名古屋工業研究所] [総会との併催]第12回分離プロセス基礎講座 第2回 幹事会	○ ○ 7 ○ ○ ○ ○	学生の会大学見学会・月例セミナー 環境&資源エネルギー研究会第13回講演会 開発型企業連携研究会セミナー&ミキサー(長浜) 水素・燃料電池システム研究会 第1回燃料電池講演会 化学工学イノベーション研究会第19回研究会 化学工学CFD研究会 第4回研究会 (理科教育委員会 共催)中高数検と ケミカルエンジニア交流のための見学講演会	○ ○	<岡山>化学工学基礎講習会(H28年度第1回) <中国>新技術交流会(大竹)	2 17,18 ○ ○	第53回化学関係支部合同九州大会 第27回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会 九州支部学生員審査会 <南九州>総会・講演会
○ ○ ○	第99回 講演見学会 ○ ○>子供たちのための理科俱楽部	○ ○ ○	<北陸>第11回北陸地区化学工学研究交流会(富山) <北陸>第21回装置懇話会(富山)	○ ○	<中国四国><山口>化学工学基礎講習会(宇部) <中国>広島大学オープンキャンパス(広島県)	○ ○	第47回化学工学の基礎講習会 <東九州>総会・講演会
○	[第110回 東海技術サロン] (中部科学技術センター・東海化学工業会担当)	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	[人材育成センター 共催]第42回経営ゼミナール 開高セッション(芦原) [SIS部会FO分科会 共催]第34回プラントオペレーション に関する現場監督者セミナー 工業化技術研究会第13回研究会 <播磨>第8回工学基礎講座(姫路) 化学工学技士(基礎)試験	○ ○	<中国四国><中国>基礎化学工学講習会(広島県) <若手>若手CE会席(山口)	○	第2回役員会
23 28~29 30 ○ ○ ○	第2回常任幹事会 [人材育成センター 共催]第42回経営ゼミナール 東海セッション[月和セミナープラス] <静岡>第24回 静岡フォーラム (研究交流セミナー) 第3回 信州コロキウム 第8回 製剤技術講習会	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	第2回幹事会 セミナー「マイクロリアクター・コンパクトプロセス関連(仮)」 第22回実践化学工学講座 全11日間(大阪) 第4回技術シニアフォーラム(京都) 学生の会大学見学会・月例セミナー 環境&資源エネルギー研究会第14回講演会 プラント・プロセス研究会第20回見学会 化学工学イノベーション研究会第20回研究会 (OpenCAE学会共催)化学工学CFD研究会 共催セッション <北陸>第2回理事会	○	<岡山>学生工場見学会(岡山)	○ ○	第2回幹事会 九州支部ワークショップ(セミナー)
5~6 9~10 ○	[第47回 中部化学関係学会支部連合 秋大会][豊橋技術科学大学] 第50回 進歩講習会 <静岡>第23回 企業技術交流会	16 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	セミナー「エネルギー関連(仮)」(大阪) 単位操作のイノベーションシリーズ「先端技術を支える 単位操作―精分・ろ過・遠心分離―」(神戸) セミナー「システムで考える植物工場(仮)」 学生の会企業見学会 水素・燃料電池システム研究会 水素・燃料電池講演会 化学工学CFD研究会第3回「ゼロからできるCFD ―羽口から島もCFD技術者―」 <北陸>第70回化学工学講習会「プロセス制御工学」 (分譲工学I)(富山) 化学工学技士試験(大阪)	○ ○ ○	<山口>化学工学研究会(宇部) <中国四国><中国>2016年度セミナー(広島) <徳島>工場見学会(徳島)	○	化学工学の基礎出前講習会
20 ○	第3回 幹事会 <静岡>見学会講演	○ ○ ○ ○ ○ ○ 1 ○ ○	第3回幹事会 第3回留學生のつどい(神戸) 学生の会企業見学会 第29回CES21コロキウム 第11回京滋化学技術交流会 開発型企業連携研究会 セミナー&ミキサー(大阪) <播磨>第2回幹事会(姫路) <播磨>企業見学会(姫路)	○ ○ ○	<岡山>化学工学基礎講習会(H28年度第2回) <中国四国>中国四国支部大会 <徳島>第21回徳島地区分析技術セミナー<徳島>	2~4	第29回化学工学に関する国際シンポジウム
20 ○ ○	第3回 常任幹事会 第100回 講演見学会 <静岡>役員会/第32回 静岡コロキウム	○ ○ ○ ○	第1回委員長連絡会 和歌山地区共催セミナー(和歌山) <北陸>第216回装置懇話会(富山) 化学工学イノベーション研究会第21回研究会	○	<岡山>第59回化学工学コロキウム <中国四国><山口>講演会・見学会(場所未定)	20 ○	第19回企業と大学・高校の人材育成相談会 第3回役員会
14	第4回 幹事会/役員会/第111回東西技術サロン [メルパルクAIGOYA]	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	第4回幹事会 セミナー「医薬品製造に関わるGMPの最新動向」 講演&見学会(仮) 第29回CES21講演会 環境&資源エネルギー研究会第15回講演会 工業化技術研究会第14回研究会 プラント・プロセス研究会第21回見学会 <北陸>第3回理事会 <播磨>第3回幹事会(姫路) <播磨>第35回播磨産業フォーラム(姫路)	○ ○	<岡山>第60回化学工学コロキウム <中国四国><山口>講演会・見学会(場所未定)	○	第3回幹事会

平成 28 年度部会事業計画書

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| 1. 国際関連事業 | 2. シンポジウム・講演会などの行事 |
| 3. 本部大会・支部行事関連行事 | 4. 講習会・セミナーなどの啓発活動 |
| 5. 出版物・特集号などの化学工学出版への寄与 | 6. 受託事業の推進 |
| 7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行 | 8. 特記事項 |

(年号記載ないものは 2016 年)

バイオ部会

1. 国際関連事業

- ・バイオ部会国際シンポジウム「バイオメディカルエンジニアリングの進歩」
(3 月 14 日; 関西大学, バイオ部会主催)
- ・米国化学工学会年次大会 SCEJ-AIChE joint session Bioseparation and bionanotechnology
(11 月 14 あるいは 15 日; Hilton San Francisco, 米国化学工学会主催, 化学工学会・バイオ部会共催)
- ・16thBSSS2016(BioSeparation Symposium & School) 第 16 回バイオ分離シンポジウム
(12 月頃;
山口大学工学部, 山口大学生命医工学センター主催, バイオ部会・次世代バイオ医薬品製造技術研究組合共催)

2. シンポジウム・講演会などの行事

- ・バイオ部会国際シンポジウム「バイオメディカルエンジニアリングの進歩」
(3 月 14 日; 関西大学, バイオ部会主催)
- ・バイオ部会インフォーマルミーティング
(3 月 23 日～24 日; 定山溪温泉, バイオ部会主催)
- ・バイオプロセス講演・見学会
(6 月 30 日～7 月 1 日; 中外製薬宇都宮工場, 関東支部・バイオ部会主催, 生物プロセス分野専門分科会共催)
- ・第 48 回秋季大会シンポジウム (徳島大学) バイオ部会ポスターセッション
(9 月 6 日～8 日のいずれか, バイオ部会主催)
- ・次世代バイオ分離プロセスに関するシンポジウム
(9 月 6 日, 生物分離分野専門分科会主催, 次世代バイオ医薬品製造技術研究組合共催)
- 「地域資源の産業化プロセス」に関するシンポジウム(タイトル未定)
(9 月 6 日～8 日のいずれか, 生物プロセス分野専門分科会主催, 共催部会依頼中)
- 「バイオ医薬品の生産プロセス」に関するシンポジウム(タイトル未定)
(9 月 6 日～8 日のいずれか, 生物プロセス分野専門分科会主催, 共催部会依頼中)
- メディカル分野に関するシンポジウム(タイトル未定)
(9 月 6 日～8 日のいずれか, メディカル分野専門分科会)
- 生物情報分野の産業応用と学術発展に関するシンポジウム(タイトル未定)
(9 月 6 日～8 日のいずれか, 生物情報分野専門分科会主催)
- 食品化学工学研究に関する最前線のシンポジウム
(平成 28 年 9 月 6 日～8 日のいずれか, 食糧・食品生産分野専門分科会主催, 日本食品工学会共催)
- ・環境バイオテクノロジー学会 2016 年度大会シンポジウム
(6 月上旬, 広島大学, 環境バイオテクノロジー学会主催, 環境生物分野専門分科会協賛)
- ・第 68 回日本生物工学会大会
(9 月 28～30 日; 富山国際会議場,
- ・静岡大学食品・生物産業創出拠点研究会
(9 月下旬; 静岡市産業交流センター(予定),
静岡大学食品・生物産業創出拠点主催, 環境生物分野専門分科会・静岡化学工学懇話会協賛)
- ・日本食品工学会 2016 年度秋季講演会
(11 月頃, 日本食品工学会, 食糧・食品生産分野専門分科会)
- ・微生物腐食
(11 月, 腐食防食学会主催, 北海道・東北・関東地区交流会共催)
- ・米国化学工学会年次大会 SCEJ-AIChE joint session Bioseparation and bionanotechnology
(11 月 14 あるいは 15 日; Hilton San Francisco, 米国化学工学会主催, 化学工学会・バイオ部会共催)
- ・16thBSSS2016(BioSeparation Symposium & School) 第 16 回バイオ分離シンポジウム
(12 月頃; 山口大学工学部,
山口大学生命医工学センター主催, バイオ部会・次世代バイオ医薬品製造技術研究組合共催)
- ・講演会(タイトル未定)
(12 月頃, 関西・東海地区交流会主催)
- ・シンポジウム「細胞アッセイ技術の現状と将来」
(1 月頃, 細胞アッセイ研究会主催)

3. 本部大会・支部行事関連行事

- ・バイオ部会国際シンポジウム「バイオメディカルエンジニアリングの進歩」
(3月14日, 関西大学)
- ・米国化学工学会年次大会 SCPE-AIChE joint session Bioseparation and bionanotechnology
(11月14あるいは15日; Hilton San Francisco, 米国化学工学会主催, 化学工学会・バイオ部会共催)

4. 講習会などの啓発活動

特になし

5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

特になし

6. 受託事業の推進

特になし

7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

- ・Newsletter No.42 (6月発行)
- ・Newsletter No.43 (10月発行)
- ・Newsletter No.44 (2017年2月発行)

8. その他

- バイオ部会平成28年度総会 (3月13日; 関西大学)
- バイオ部会平成28年度第1回役員会 (9月6日から8日のいずれか; 徳島大学)
- バイオ部会平成28年度第2回役員会 (2017年2月中; 東京大学本郷キャンパス)

超臨界流体部会

1. 国際関連事業

- ・6th International Conference on Engineering for Waste and Biomass Valorisation and 2nd WasteEng Summer School
(5月23~26日; Albi, France)
- ・Prosciba 2016: IV Iberoamerican Conference on Supercritical Fluids
(3月28日~4月1日; Viña del Mar, Chile)
- ・15th European Meeting on Supercritical Fluids
(5月8~11日; Essen, Germany)
- ・11th Asian Thermophysical Properties Conference
(10月2~6日; Yokohama, Japan)
- ・8th Green Solvents Conference
(10月16~19日; Kiel, Germany)

2. シンポジウム・講演会などの行事

- ・協賛事業
超臨界流体クロマトグラフィ研究会 (3回/年)
- 高圧討論会 (11月)

3. 本部大会・支部行事関連行事

- ・第81年会 (3月)
- ・秋季大会 (9月)

4. 講習会・セミナーなどの啓発活動

- ・第15回サマースクール (8月)
- ・超臨界流体基礎セミナー (2017年1月)

5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

- ・会誌年鑑

6. 受託事業の推進

7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

- ・部会ニュースレター No.23, 24 発行予定

8. 特記事項

エネルギー部会

1. 国際関連事業

特になし

2. シンポジウム・講演会などの行事

- 秋季大会(徳島)エネルギーシンポジウム(4分科会合同) (9月; 徳島大学)
- 第四回先端計測技術の応用展開に関するシンポジウム(微量成分分科会) (共催: 鉄鋼協会評価・分析・解析
部会先端レーザ応用技術フォーラム, 微量成分分科会) (12月; 東海村産業・情報プラザ(詳細未定))

3. 本部大会・支部行事関連行事

第48回秋季大会：シンポジウム（燃料電池・電池分科会）電池・電気化学エネルギー変換とその未来 ～創
る・造る・活かす 化学工学の貢献～（口頭発表部門・ポスター発表部門）（共催：材料界面部会・反応工学
部会）（9月；徳島大学）

4. 講習会・セミナーなどの啓発活動

見学・勉強会（燃料電池・電池分科会）（11月頃；場所未定）
第32回熱利用分科会研究会（熱利用分科会）（開催日時、場所等未定）
第33回熱利用分科会研究会（熱利用分科会）（開催日時、場所等未定）
第34回熱利用分科会研究会（熱利用/新エネ）（新エネルギー・エネルギーシステム分科会と共催）
（開催日時、場所等未定）
熱利用分科会第5回若手セミナー（熱利用分科会）（開催日時、場所等未定）
2016年度新エネ分科会研究会（新エネルギー・エネルギーシステム分科会）
（2017年1月頃；関東地区）

5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

6. 受託事業の推進

7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

8. 特記事項

安全部会

1. 国際関連事業

2. シンポジウム・講演会などの行事

・安全講演会（11月；東大山上会館）
・ワーキンググループ活動
・マトリクス関係のテーマ設定予定
・新規に2～3ワーキンググループ立ち上げ予定
・安全サロン（3～4か月に1度住化参官寮にて開催予定；一部が外部研修センター）

3. 本部大会・支部行事関連行事

・秋季大会（徳島）「安全部会シンポジウム」 発表テーマ公募予定

4. 講習会などの啓発活動

・安全セミナー（安全評価手法（定常 HAZOP））（2017年2月）
・非定常HAZOPのセミナーを具体化する。（9月）
・ノンテクニカルスキル講座：年3回（9月と11月等）
・行動特性研究会立ち上げ（5月）

5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

・テクニカルレポートのHPへの格納；
・現在進行中のWG活動は継続する。報告書3作成して3年経過した通常版をHPに公開予定。
事故事例活用WG ・マトリクスWG ・設備保全WG
・新規WGの立ち上げ（4月）
・化学工学会特集：英文誌

6. 受託事業の推進

7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

8. その他

エレクトロニクス部会

1. 国際関連事業

・予定なし。ただし臨時開催はある。

2. シンポジウム・講演会などの行事

・10月 シンポジウム

3. 本部大会・支部行事関連行事

・第81年会 セッション「エレクトロニクス」
・第48回秋季大会「エレクトロニクス材料とプロセス」

4. 講習会などの啓発活動

・シンポジウム要旨集のホームページへの掲載

5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与
 - ・「化学工学」年鑑への寄稿
6. 受託事業の推進
7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行
 - ・部会ニュースの配信とホームページへの掲載
8. その他
 - ・部会ニュースの配信とホームページへの掲載

粒子・流体プロセス部会

1. 国際関連事業
 - ACOM5(5th Asian Conference on Mixing)の開催 (8月30日～9月2日;山形県天童市)
 - International Workshop on Process Intensification (IWPI)の開催 (9月28～29日;Manchester, UK)
2. シンポジウム・講演会などの行事
 - ・部会セミナー
 - ・平成28年度ミキシング技術分科会夏期セミナー
 - ・第25回東日本地区ミキシング技術サロン
 - ・第26回関西東海地区ミキシング技術サロン
 - ・第21回九州地区ミキシング技術サロン
 - ・粉体プロセスセミナー
 - ・微粒子工学講演会(共催)
 - ・機能性粉体プロセス研究会(共催)
3. 本部大会・支部行事関連行事
 - ・第81年会国際シンポジウム
 - ・第48回秋季大会シンポジウム, 部会セッション
4. 講習会などの啓発活動
 - ・若手研究者・技術者を対象とした工場見学および交流会
5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与
6. 受託事業の推進
7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行
 - ・部会ニュースレター(15号, 16号)
 - ・ミキシング技術分科会会誌 Mixing Technology Now No.21 の発行
8. その他
 - ・部会賞の公募, 審査・授与および記念講演会の開催

システム・情報・シミュレーション部会

1. 国際関連事業
 - ・WINTech2016(共催行事) (3月;神戸)
2. シンポジウム・講演会などの行事
 - ・プラントオペレーション分科会 第137回研究会 (4月)
 - ・プラントオペレーション分科会 第138回研究会 (7月)
 - ・プラントオペレーション分科会 第139回研究会 (10月)
 - ・プラントオペレーション分科会 第140回研究会 (2017年1月)
 - ・統合化学分科会 2016年度 第1回研究会 (6月)
 - ・統合化学分科会 2016年度 第2回研究会 (11月)
 - ・ダイナミックプロセス応用分科会 イノベーションハブ構築に関する講演会 (6月)
 - ・ダイナミックプロセス応用分科会 平成28年度 研究討論会 (11月)
 - ・情報技術教育分科会研究会 (3月)
 - ・情報技術教育分科会研究会 (8月)
 - ・情報技術教育分科会研究会 (9月)
 - ・情報技術教育分科会研究会 (12月)
 - ・情報技術教育分科会研究会 (2017年1月)
 - ・コストエンジニアリング分科会 関東分科会 (4月)
 - ・コストエンジニアリング分科会 関西分科会 (5月)
 - ・コストエンジニアリング分科会 関東分科会 (7月)
 - ・コストエンジニアリング分科会 関東関西合同会宿 (8月)
 - ・コストエンジニアリング分科会 関西分科会 (10月)

- ・コストエンジニアリング分科会 関東分科会 (10月)
 - ・コストエンジニアリング分科会 関東分科会 (2017年1月)
 - ・コストエンジニアリング分科会 関西分科会 (2017年2月)
3. 本部大会・支部行事関連行事 (9月)
- ・第48回秋季大会
 - ・第15回プロセスデザイン学生コンテスト
 - ・部会企画 シンポジウム:タイトル未定
 - ・プラントオペレーション分科会 シンポジウム:タイトル未定
 - ・統合化学分科会 シンポジウム:タイトル未定
 - ・ダイナミックプロセス応用分科会 シンポジウム:タイトル未定
 - ・コストエンジニアリング分科会 シンポジウム:タイトル未定
4. 講習会・セミナーなどの啓発活動
- ・第34回プラントオペレーションに関する現場監督者セミナー(開催時期未定)
 - ・PSE教育の講習会(開催時期未定)
 - ・プロセス強化セミナー(開催時期未定)
5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与
6. 受託事業の推進
7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行
- ・部会員(約300名)宛のメールマガジンを不定期に発行予定(年間12通程度)、部会ホームページの更新および拡充
8. 特記事項
- ・SIS 部会幹事会 (3月; 関西大学)
 - ・SIS 部会幹事会 (9月; 徳島大学)
 - ・SIS 部会賞の授与 (3月, 9月)

反応工学部会

1. 国際関連事業
- ・IWPI2016(International Workshop of Process Intensification)9/28-29 イギリス開催への協力 (Keynote Speaker 徳島大・外輪)
2. シンポジウム・講演会などの行事
- ・第12回化学工学会反応工学部会若手会(反好会)講演会 (3月)
 - ・第8回マイクロ化学プロセス分科会講演会 (3月)
 - ・第15回大気圧プラズマ見学会 (3月)
 - ・第17回微細気泡講演会 (6月)
 - ・第7回マイクロ化学プロセス分科会討論・交流会 (8月開催予定)
 - ・第13回化学工学会反応工学部会若手会(反好会)講演会 (9月)
 - ・ソノプロセス分科会講演見学会 (10月)
 - ・第25回ソノケミストリー討論会 (10月)
 - ・第16回大気圧プラズマ見学会 (11月)
 - ・第18回微細気泡講演会 (12月)
 - ・第9回マイクロ化学プロセス分科会講演会 (2017年1月開催予定)
 - ・シンポジウム(CVD 反応分科会) 2回開催
 - ・反応分離シンポジウム (時期未定)
3. 本部大会・支部行事関連行事
- ・第48回秋季大会「大気圧プラズマプロセスシンポジウム」(熱工学部会、粒子流体プロセス部会と共同開催) (9月)
 - ・第48回秋季大会シンポジウム(反応工学部会主催) (9月)
 - ・第48回秋季大会シンポジウム(CVD 反応部会主催) (9月)
 - ・第48回秋季大会燃料電池に関する特別シンポジウム(エネルギー部会、材料界面部会と共同開催) (9月)
4. 講習会・セミナーなどの啓発活動
- ・第7回マイクロ化学プロセス分科会討論・交流会 (8月開催予定)
 - ・第10回触媒劣化セミナー(触媒反応工学分科会主催) (10月頃)
 - ・第56回オーロラセミナー(触媒学会北海道地区主催)への援助 (7月頃)
 - ・分科会賛助会員の集い「触媒反応工学 見学・講演会」 (12月頃)
 - ・CVD 基礎講習会
 - ・反応工学部会 触媒反応工学分科会 2016年度報告書 ー活性劣化に関する報告書(XXVII)ー 発行予定

5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与
 - ・化学工学年鑑(2016)の執筆 (触媒反応工学, ソノプロセス, 活性種化学, 反応分離, 反応装置・プロセス, CVD 反応, マイクロ化学プロセス, 反応場の工学)
6. 受託事業の推進
7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行
 - ・マイクロ化学プロセス分科会ニュースレター (4 回/年)
 - ・反応分離ニュース (1 回/年)
8. 特記事項
 - ・Facebook を使用した情報発信 (マイクロ化学プロセス分科会) (随時)
 - ・反応分離企画委員会 (年 2 回/開催時期未定)
 - ・公募制による分科会活動支援

環境部会

1. 国際関連事業
 - ・第 14 回資源リサイクルと材料科学に関する日韓国際シンポジウム(韓国、協賛) 開催時期未定 (10 月;東京)
 - ・25th Japan-Korea Symposium on Water Environment (協賛)
2. シンポジウム・講演会などの行事
 - ・第 29 回環境工学連合講演会『未来の社会を担う環境工学』 (5 月 13 日;日本学術会議講堂、講師)
 - ・各分科会において見学会等を実施予定
3. 本部大会・支部行事関連行事
 - ・化学工学会秋季大会において「環境部会シンポジウム」を主催
 - ・パリ協定を受けたイノベーションの必要性に関するシンポジウム
4. 講習会などの啓発活動
 - ・水環境関連のセミナーを実施予定
5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与
 - ・化学工学 10 号特集 化学工学年鑑 2015 (環境化学工学)
 - ・化学工学論文集特集号
6. 受託事業の推進
 - 特になし
7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行
 - ・部会関連の情報を適宜、部会員全体のメーリングリストにて提供
8. その他
 - ・環境部会平成 28 年度総会 (3 月 13 日;関西大学千里山キャンパス)
 - ・環境部会平成 28 年度幹事会 (9 月 6 日;徳島大学常三島キャンパス)

材料界面部会

1. 国際関連事業
 - ・第 12 回日韓材料界面シンポジウム主催 (秋頃;場所は調整中)
 - ・Asian Crystallization Technology Symposium 2016 (ACTS 2016) 協賛: 晶析技術分科会 (5 月 25~27 日;中国天津大学)
 - ・第 18 回国際塗布シンポジウム(ISCST2016) 協賛: 塗布技術分科会 (9 月 18~21 日;ピッツバーグ)
2. シンポジウム・講演会などの行事
 - ・材料化学システム工学討論会 2016 (夏頃;東京大学)
 - ・第 11 回晶析操作の基礎と実践 協賛(予定): 晶析技術分科会
 - ・第 22 回関西地区分離技術講演会 協賛(予定): 晶析技術分科会
 - ・塗布技術分科会 第 57 回定例会合(関東)
 - ・塗布技術分科会 第 57 回定例会合(関西)
 - ・塗布技術分科会 第 58 回定例会合(関東)
 - ・塗布技術分科会 第 58 回定例会合(関西)
 - ・塗布技術分科会 合宿討論会
 - ・第 8 回 マイクロカプセル研究会講演会 (開催日時, 場所は調整中)
 - ・第 14 回 機能性微粒子分科会セミナー (開催日時, 場所は調整中)
 - ・第 1 回 ソフトマター工学研究講演会 (5 月頃;東京)

3. 本部大会・支部行事関連行事

- ・ 第48回秋季大会
材料・界面討論会「材料創製と界面制御の最前線(仮称)」(オーラル&ポスター)
晶析技術分科会シンポジウム(予定)
次世代の社会ニーズを考慮した各種電池等のエネルギーデバイスの材料からシステムまで(仮称)
(エネルギー部会, 反応工学部会と共催予定)
ソフトマター工学分科会シンポジウム(予定)

4. 講習会・セミナーなどの啓発活動

- ・ 秋の晶析セミナー

5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

6. 受託事業の推進

7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

- ・ 【材料・界面部会ニュース】部会員に対して随時メール配信
- ・ 晶析技術分科会ニュース配信

8. 特記事項

- ・ H28年 第1回 機能性微粒子分科会委員会 (3月13日を予定)
- ・ H28年 第2回 機能性微粒子分科会委員会 (9月6日を予定)

基礎物性部会

1. 国際関連事業

- ・ 2016年5月22日～26日にポルトガルのポルトにおいて開催される物性と相平衡の国際会議(PPEPPD 2016)の参加を募り, 研究報告と資料収集を行うとともに, 国際交流を図る。また AICHE Annual Meeting に, 部会員を派遣する。

2. シンポジウム・講演会などの行事

- ・ 秋季大会において, 基礎物性部会主催シンポジウムならびに, 超臨界流体部会との共催シンポジウムを開催する。
- ・ 分離技術会との共催および協賛の講演会等を開催する。

3. 本部大会・支部行事関連行事

- ・ 該当事業なし。

4. 講習会・セミナーなどの啓発活動

- ・ 分離技術会等関連学会と協賛で, 企業研究者を対象とした物性測定技術, 推算法の最新技術およびその応用に関する講習会を共催する。

5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

- ・ 化学工学誌に連載した「シミュレータでの物性推算」の記事を基に専門書を発行することを計画している。

6. 受託事業の推進

- ・ 文部科学省や経済産業省等の大型の研究費獲得に向け, 部会員間・他部会員との連携を図る。

7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

- ・ 部会員に向けた部会ニュース・メールマガジンを配信, 部会員間の情報交換と部会事業への積極的な参加を促す。

8. 特記事項

- ・ 特記事項なし。

分離プロセス部会

1. 国際関連事業

- ・ 化学工学会第81年会 国際シンポジウム 分離プロセス部会セッション「ミクロ多孔膜の新しい展開」

2. シンポジウム・講演会などの行事

- ・ 第13回 分離プロセス基礎講座 (7月実施予定: 固液分離分科会担当)
分離プロセスは組み立て工業以外の全製造部門において, コストを支配する基幹のプロセスである。化学工学会分離プロセス部会では, この分野の第一線で活躍されている研究者・技術者を講師に招き, 分離プロセスの基礎理論を平易に解説する「分離プロセス基礎講座」を年一回程度のペースで開催している。
- ・ 第7回分離プロセス最新技術講座 (時期未定: 蒸留分科会担当予定)
一般に製造部門は非常に多くのプロセスから成り立っている。それらの中で分離プロセスは製品のコストや性能を支配する重要なプロセスとして位置づけられる。化学工学会分離プロセス部会では, この重要な分離プロセス分野の第一線で活躍されている研究者・技術者を講師に迎え, 分離プロセスの最新技術を平易に解説する「分離プロセス最新技術講座」を隔年のペースで開催している。

- ・ 第 13 回分離プロセス講演及び見学会 (時期未定:吸着・イオン交換分科会担当予定)
化学工学会分離プロセス部会では、年に一回のペースで、分離プロセスの実際の現場を見学し、講演を聴くことで、分離プロセスの理解を深める企画をしている。
- 3. 本部大会・支部行事関連行事
 - ・ 化学工学会 第 48 回秋季大会 シンポジウム(分離プロセス部会:抽出分科会担当予定)
 - ・ 分離プロセス部会シンポジウム(口頭)
 - ・ 分離プロセス部会ポスターセッション&実用分離技術ポスターセッション(ポスター)
 - ・ 蒸留・膜合同シンポジウム(案)
 - 他数件を予定
- 4. 講習会・セミナーなどの啓発活動
- 5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与
 - ・ 第 48 回秋季大会の蒸留・膜合同シンポジウム(案)について、本企画を化工誌の大特集(蒸留・膜・吸着のハイブリッド化による次世代省エネ分離技術)に掲載予定(9 月号掲載予定)である。
- 6. 受託事業の推進
- 7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行
 - ・ 部会 HP を随時更新し、部会会員への情報提供を強化する。
 - ・ ニュースレターを年に 1 回のペースで発行する。
- 8. 特記事項

熱工学会

1. 国際関連事業

20th International Drying Symposium (IDS2016) (第 20 回国際乾燥シンポジウム(IDS2016))への共催
(8 月 7～10 日;岐阜市長良川国際会議場)

内 容 : 乾燥に関する世界最大の国際会議であり、2 年ごとに世界各地で開催される。
2. シンポジウム・講演会などの行事
 - ・ 熱工学会セミナー(1回/年) (未定;未定)
内 容 : 熱工学に関連する重要かつ興味あるテーマを設定し、4 名程度の講師に講演を依頼するとともに、参加者間でテーマに関する議論並びに情報交換を行う。
 - ・ 2016 年度第 1 回熱工学会研究会 (9 月 6 日～8 日期間中;徳島大学)
内 容 : 部会の活動内容の現状あるいは将来に関する議論を部会員間で行う。
 - ・ 2016 年度第 2 回熱工学会研究会 (熱工学会セミナーと同じ)
内 容 : 部会の活動内容の現状あるいは将来に関する議論を部会員間で行う。
 - ・ 2016 年度総会 (3 月 13 日～15 日期間中;関西大学)
内 容 : 部会の行事・決算報告、次年度の行事予定・予算の審議等を行う。
3. 本部大会・支部行事関連行事
 - ・ 化学工学会第 48 回秋季大会における「熱工学会セッション」 (9 月 6 日～8 日期間中;徳島大学)
概要 : 熱を取り扱う技術や課題について、分野横断的に情報交換を行いながら、持続可能な社会の実現に向けて、熱工学が果たすべき役割について考える。熱と関わる基礎・応用研究にとどまらず、装置開発および改善に関する実例の報告、問題提起などを広く募集する。
4. 講習会・セミナーなどの啓発活動
予定なし
5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与
予定なし
6. 受託事業の推進
予定なし
7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行
 - ・ 部会ホームページにおける情報発信を強化するために、ホームページの内容を充実させる。
8. 特記事項
 - ・ 優秀発表賞
化学工学会第 48 回秋季大会における「熱工学会セッション」での発表者を対象とする。

化学装置材料部会

1. 国際関連事業
 - ・MTI(Materials Technology Institute)と具体的な共同事業についての会合 (5月頃予定)
 - ・損傷事例集の英訳本の発行
2. シンポジウム・講演会などの行事
 - ・部会講演会(6回/年) 分科会の会合時および総会時に開催。主に部会員を対象に公開。
 - ・工場見学会
3. 本部大会・支部行事関連行事
 - 【主催事業】
 - ・第81年会 化学産業技術フォーラム「高温環境での化学装置」開催 (3月13～15日; 関西大学)
 - ・第48回秋季大会 シンポジウム開催を計画 (9月6～8日; 徳島大学)
 - 【協賛事業】
 - ・第17回プラント保全研究会(主催:化学工学会中国四国支部、中国地区化学工学懇話会) (3月2日)
4. 講習会・セミナーなどの啓発活動
 - ・各分科会での研究会活動 各分科会において、研究会や見学会等を開催する。
 - ・ボイラー関連のセミナーを開催する(腐食分科会)
5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与
 - ・「化学工学」誌
 - 化学工学年鑑執筆、トピックス執筆(設備維持技術分科会)、「設備老朽化」をテーマに特集号を計画
 - ・有機材料設備の診断・測定要素技術集(有機材料分科会)
6. 受託事業の推進
7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行
 - ・部会メールマガジンを適宜発行
8. 特記事項
 - ・化学装置材料部会 2016年度総会 (2回/年)
 - ・化学装置材料部会 2016年度役員会 (2回/年)

以上